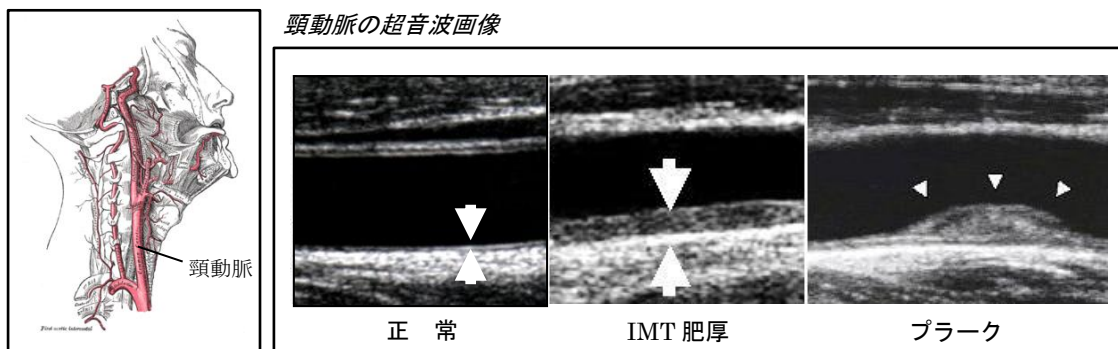


## 頸動脈超音波検査

頸動脈は、脳に血液を送る大切な血管です。その血管が狭くなったり（狭窄）、詰まったり（閉塞）すると脳梗塞などの重大な病気を引き起こします。頸動脈エコー検査では、頸動脈の狭窄の有無やプラーク（隆起性病変）の有無を調べることができます。

また、頸動脈は動脈硬化の進行度を判断するのに最も適した部位でもあります。動脈硬化は、心筋梗塞などの心臓の病気や脳梗塞などの脳の病気にも深く関わっています。この検査では、頸動脈の「壁の厚さ（IMT）」を測定することにより、動脈硬化の進行度を評価することができます。



## 腹部超音波検査

腹部超音波検査で肝臓を観察することにより脂肪肝の有無がわかります。

脂肪肝とは、食べ過ぎやアルコールの多飲によって肝臓に脂肪がたまった肝臓の肥満症とも言える状態です。脂肪肝は、動脈硬化をはじめとするさまざまな生活習慣病を引き起こす恐れがあるばかりではなく、アルコールの多飲によるアルコール性脂肪肝は、慢性肝炎から肝硬変へと進行し、肝臓がんに至る可能性もあります。さらに、最近では非アルコール性の脂肪肝（NAFLD）が注目されています。これも進行すると非アルコール性脂肪肝炎（NASH）という病気へと進む可能性があるのです。脂肪肝は自覚症状がないため、健診などで発見される場合がほとんどです。

